









(前頁より)  
この面々は、技能者、経験者、やなぎだだだ。だから七〇歳でもいいんですよ。だけれども彼がいじくも言って、五年くらい

### 週休二日制の実施へ

B 私は今年からというところ、昨年私の主観を発表しました。それは週休二日制の完全実施についてですが、今までのような棚ぼた式の週休二日制ではないんだよ。企業を維持していくためのペースというものがあんだから、毎日毎日の仕事の中で、効果的なものを取り入れて、前向きな形でもって検討して欲しい。週休二日制にしたために、オーバータイムが増えるようなことは絶対やめてくれ。じゃないと俺のために、週休二日制を実施したかわからない。君たちが努力してもらいたい。発表しています。

A 去年の暮、あるパートが配達とか販売の人を集めるためにパートを含むアルバイトを雇ったんです。ところが今までとかなり集まったんですが、その人たちも集まらないですね。女のパートは勿論、学生アルバイトも集まらない。それでこのパートは、三ヶ月動いたら四泊六日のハワイ旅行に連れていきますとパンと出したんです。そしたら動くんですね。

それから、ある企業が年間休日二六日というのを、募集のチラシの一番上に大きな字で書いてあるんですよ。何となく二六日に魅力があるんですね。電話は勿論、面接はある。だから、人を集めるのが、給料よりも休日があると言った方が人は集まりやすいんですね。

はとにかく今のところ生き残れるかなきゃいけない。当然感安旅行も、国内から海外に、そういう方向づくりをせざるを得ないかなというき残り作戦をやるんじゃないかというのが現状です。

司会者 日本は規格大量生産品が得意な国ですが、イタリヤが危ない、危ないといつとときに持ち直したのは何だったかという、イタリヤの品物はすごいんですよ。だから企業としては環境をまですつとくことが根底にあるわけです。

### 若者の労働観は

D 私は、若い人が体を使う仕事は嫌だとか一概には言えないよ

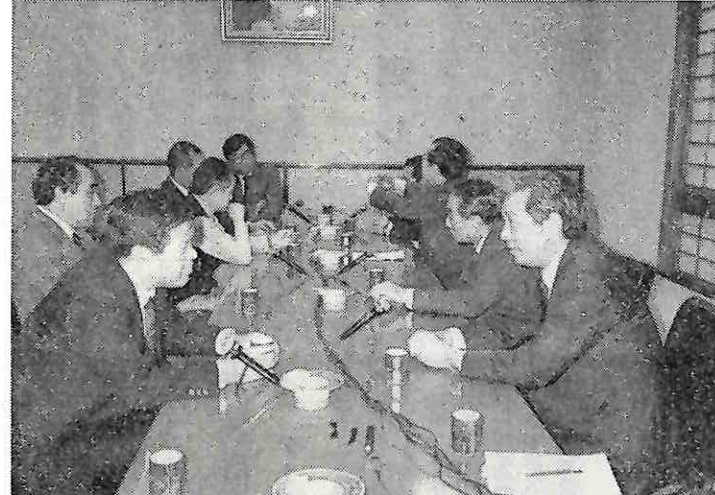
司会者 じゃ、何が誤っているんでしょうか。

B これは極論なんですけれども、余りにも価値観が、我々の育つ世代と、今の若い人たちの育つ世代と違っていると思います

司会者 Dさんが言ったようにスポーツはあんなに一生懸命やっているんだから、体を動かすのは嫌じゃないんだ。そういう者を使ったらいんじゃないかと今彼は言っているわけじゃないか。

C 今はこういうのがあんなです。クラブ活動に入りますと、Dさんの息子さんはまたまやっておられたんでしょうけれども、例えば、テニス部がある。テニス好会もある。テニス部に入るやつは、やっぱりかなり厳しくしかれるわけじゃない。こういうのが嫌なやつは同好会に入らなければ。好きな時に好きなだけやれるわけですよ。今は大学なんか、同好会というのがいっぱいあります。高校、中学もそうですよ。

B だから、そのような拘束性



を受けられるというか、受けること自体を彼は全く嫌うわけですね。

司会者 じゃ、絶望に近いわけじゃないですか。

H たまたまうちの息子が、ラグビーが好きで大東大に行ったんですよ。わきわき遠くを走るまで通っているわけですよ。休みなんか一年を通じて何日もないわけですよ。確かに強いわけだけれども、今年の一年生が入ってきて、一年生の親がうるさくて、先生と二年生の親がうるさくて、先生と二年生、三年生がみんな参っちゃってチームワークが乱れて、この花崗へ行けなくなっちゃったわけですよ。これはほんとに親がうるさくて。

### 魅力ある会社

司会者 Hさんとは是非常うございませぬ。

B 年齢的断層がないんですね。司会者 Bさんはどう。

E 私としては年齢の近い先輩を引習おっと思つて、私も断層があったんですけれども、一手、二手打っています。確かにこのとこへ、若い人も定着しています。若い人の芽が核になるかどうか。核に育つようになっています。私は経営者としての発想が無理でもいければ、なるべくブラッスル、おれにもできるんじゃないか、今何かできることがあるんじゃないか、あきらめないで失敗を覚悟やっています。

司会者 H君のころは東京から勤労意欲のない人を引張って来たんだから立派だよ。

でやるのかといったら、自分は若いんだからいろんなものにチャレンジしたい。ほかに自分に合った仕事があるんじゃないか。と言われるのが、それが一番向うから殺し文句なんです。それでそのチャレンジしてみたい他の業種を自分のグループでつくればいじやないか。ほかの業種をつくって、そこに出せばいいという発想を準備しているわけですよ。わかりますか。

司会者 なかなか結論ができませんが、勿論結論が出れば本を取っちゃうんですけど、どうですか。Bさん。

B さっき、僕と同じ発想だなと言われましたけれども、やっぱりその企業の実態に合わせた努力が必要なんじゃないかと思つていますよ。もつそれしかないもんね。

司会者 このままですと何年かつぱり人が集まってくるというところ。うちは若いもんが自分の友達を引張ってきますよ。正規採用じゃなく、中途採用はそういうのがいますよ。そういうのがプレスとか接接とかをやりたがるわけですよ。

司会者 魅力があるというか、君のころの若い人たちはどう考えているの、どういふところを魅力と考えているの。

H それは仲間がいるとか、みんなで一緒に遊びに行けるとか、会社が結構面白いとか、いろいろあると思つています。

司会者 とにかく一緒に遊べるものがあつたらいいんですよ。もつそれしかないもんね。

A 私が話を聞いていて感じたんすが、自動車には又一味違うものがあつたらいいんですよ。もつそれしかないもんね。



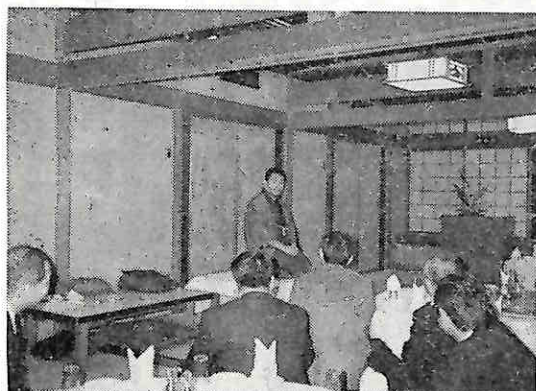




永年勤続従業員表彰式



大田区産業永年勤続優良従業員等感謝会



木 鶏 会 忘 年 会

〔前頁より〕  
九月四日〜八日(五日間) 短期技能講習会  
「品質管理・初級」  
九月六日 定例経営サロン(木鶏会)  
九月八日〜九日 山敷策(木鶏会)  
中央アルプス・木曾駒ヶ岳  
九月十九日 講習会(木鶏会青年部)  
テーマ「E.C.T.とどう付き合つか」  
講師 国際政治学者 舛添要二氏  
テーマ「日本人とは何か」  
作家 曾野綾子氏  
九月二十六日 青年部経営サロン(木鶏会)  
主な話題  
受託増加に伴う工場移転について。人材について。自動車関連産業の空洞化について。新卒者採用と週休二日制について。高齢者採用について。従業員引抜きについて。  
九月二十七日 千葉理事長は中小企業等協同組合法施行四〇周年

及び中小企業団体の組織に関する法律施行三〇周年記念式典において功労者として通商産業大臣から表彰されました。  
十月四日 定例経営サロン(木鶏会)  
主な話題  
大企業と中小企業の技術について。試作品の受託について。大企業の技術者引抜きについて。一人三役の労働力について。技術者と機械の自動化・合理化について。  
十月十一日 機関紙「工業蒲田」連報版発行  
主な記事  
節税教室開催のお知らせ  
東京都技術ハイオニア養成事業先端技術研修 案内  
外国人労働者問題を考えるシンポジウム開催のお知らせ  
自動車ローンは組合で  
十月十七日 青年部経営サロン  
主な話題  
作業場の整理整頓について  
タイ工場視察について

高校生アルバイトについて  
従業員の生計費について  
十月十八日 第四十一回中小企業団体全国大会が山口市で開催され、千葉理事長、石森副理事長、西ヶ谷常任理事が参加、中小企業施策の確立と安定、将来の繁栄等を協議、席上千葉理事長は組合功労者として表彰されました。  
九月二十五日 常任理事会  
主な話題  
1. 九月末試算表について  
別紙試算表について報告、全員これを諒承。  
2. 永年勤続従業員表彰について、被表彰者について  
五年以上四十三名、十年以上十三名計五十六名を表彰することに決定。  
3. 放談会、懇談会について  
左の通り決定。  
日時 十一月二十四日(金)午後四時〜六時 放談会  
午後六時〜 懇談会  
場所 〆とぎわ

懇親会費 一〇、〇〇〇円  
出席者 木鶏会長に二任  
4. 年末、年始休暇について  
十二月三十日(土)〜一月四日(木)の間に決定。  
5. 新春講演会、新年賀詞交歓会について  
右の通り決定。  
日時 平成二年一月九日(火)午後四時〜六時 新春講演会  
午後六時より新年賀詞交歓会  
場所 蒲田工業会館。  
講演会テーマ「本年の景況と企業経営」経済評論家、国際エコノミスト長谷川慶太郎氏  
職員年末手当について  
十一月一日 定例経営サロン(木鶏会)  
主な話題  
E.C.視察旅行について。  
週休二日制と従業員採用について。有給休暇について。  
十一月五日〜六日 紅葉狩(木鶏会)  
十一月二十一日 青年部経営サロン

主な話題  
時短について  
給与体系について  
年末手当について  
米岡、メキシコ工場視察について  
十一月二十三日 永年勤続従業員表彰式(於大田区民会館)  
被表彰者は左のとおりです。  
五年以上勤続優良従業員(社名五十音順、略敬称)  
角館軍蔵・田中信子(尼寺窪庄工業株式会社)  
富山敬夫(岡田鉦金株式会社)  
細野庄司・青木進・泉川和男・水谷百合子・米本満保・唐鎌芳昭(株式会社清川製作所)  
山仲淑子・鈴木信一・相澤正昭  
平原賢三・佐々木富美子・古関由子・表倉下代子・金井洋一・藤岡純一・山崎雅幸・小林忠男・永田高史・金坂喜旬夫・田村好子・相川幸夫・砂川シズ・石井宣子・秩父勇一・木山喜広・朝倉清子・嵯坂澄子(太産工業株式会社)

大谷得二・木俣一雄・藤崎修一  
山崎広志・賀沢真・梶行康・遠藤昌郎・鈴木きよる・川畑登喜子・平賀美枝子・高山紀子・横田武江・榎本富士子(東亜株式会社)  
沼本剛(株式会社藤原製作所)  
以上六社四十四名  
十年以上勤続優良従業員(社名五十音順)  
佐々木孝子・野口房之助(尼寺窪庄工業株式会社)  
伯耆子・林幸子・佐藤ヨシ子  
志村清貴・分部孝雄・斎藤功・栗原嘉宏・柳堀威(太産工業株式会社)  
安重男・高村俊治・加々美定利(西野機械工業株式会社)  
大田義信(株式会社仲製作所)  
以上四社十四名  
十一月二十四日 放談会、懇親会  
十二月六日 忘年会(木鶏会於北宮子・嵯坂澄子(太産工業株式会社))

迎 春

蒲田工業協同組合 (五十音順)

理事長	千 葉 博
副理事長	石 森 憲
常任理事	岡 田 清
常任理事	赤 井 弘 志
常任理事	市 川 宗 紘
常任理事	杉 谷 順 弘
常任理事	西 ヶ 谷 勝 美
常任理事	尼 寺 春 一
常任理事	川 瀬 純 一
理 事	工 藤 勝 広
理 事	戸 上 皓 司
理 事	富 田 耕 平
理 事	鳥 海 保 男
理 事	長 坂 基 秀
理 事	西 野 三 郎
理 事	野 口 三 郎
理 事	早 崎 享 一
理 事	古 川 一 郎
監 事	増 田 道 安
監 事	海 老 名 正 教
監 事	豊 田 間 正 厚
事務局 長	正 田 龍 三



謹んで新年のご挨拶を申し上げます

蒲田工業協同組合員有志

(五十音順)

機械器具製造業

- 尼寺空圧工業株式会社 代表取締役 尼寺春一
- 大阪伸栄工業株式会社 代表取締役 鶴巻英樹
- 合資会社 大津鉄工所 代表取締役 大津暢
- 株式会社 極東精機製作所 代表取締役 鈴木福男
- 株式会社 弘機商會 代表取締役 坪根五久代
- 坂口精密工業株式会社 代表取締役 坂口俊夫
- ティ・ヴィ・バルブ株式会社 代表取締役 竹内栄多
- 東 亜 株式会社 代表取締役 田村栄二郎
- 株式会社 東京精密機器具製作所 代表取締役 西ヶ谷静司
- 有限会社 巴精工所 代表取締役 武市孝雄
- 長坂精機株式会社 代表取締役 長坂基秀
- 日本チエンギヤ―無段変速機株式会社 代表取締役 加藤進弘
- 有限会社 蓮沼機械製作所 代表取締役 佐久間庄吉
- 有限会社 早崎製作所 取締役社長 早崎享一郎
- 深尾精機株式会社 代表取締役 深尾忠
- 藤田工業株式会社 代表取締役 藤田雅康

株式会社 藤原製作所

- 合資会社 古川機械製作所 代表取締役 古川一安
- 株式会社 文 化 精工工業 代表取締役 桑原久直
- 三津浜工業株式会社 取締役社長 木々津栄一
- 株式会社 妙 伊勢養治 代表取締役 伊勢養治
- 株式会社 山田精機製作所 代表取締役 山田重利
- 電気機械器具製造業
- 出雲電機株式会社 代表取締役 雲野和信
- 株式会社 小林電機製作所 取締役社長 小林竹平
- 太産工業株式会社 代表取締役 千葉博
- 株式会社 東電舎 代表取締役 石森憲蔵
- 株式会社 中山電機工業社 代表取締役 中山致
- 永森電機株式会社 取締役社長 永森忠夫
- 株式会社 日産電機 代表取締役 中村国男
- 株式会社 ユタカ製作所 代表取締役 佐藤恒徳
- 輸送用機械器具製造業
- 岩佐工業株式会社 取締役社長 岩佐勇

江崎工業株式会社

- 荏原工業株式会社 取締役社長 長井俊樹
- 株式会社 大谷造機所 取締役社長 大谷文雄
- 株式会社 鳥海製作所 取締役社長 鳥海保男
- 西野機械工業株式会社 代表取締役 西野三郎
- 日本中空鋼株式会社 代表取締役 市川宗紘
- 株式会社 日伸製作所 取締役社長 富田耕平
- 金属製品製造業
- 株式会社 旭川製作所 取締役社長 武田弘
- 佐々木発条株式会社 代表取締役 佐々木良彦
- シンドー工業株式会社 代表取締役 信藤秀夫
- 第一シャーリング工業株式会社 代表取締役 福島喜勝
- トヤマ機器工業株式会社 取締役社長 能登厚
- 同和発条株式会社 取締役社長 川島慎治
- 株式会社 羽田パイプ製造所 代表取締役 野口広
- 有限会社 富士精機製作所 代表取締役 荻野茂
- プレス・鋳金業
- 株式会社 赤井製作所 代表取締役 赤井弘志
- 株式会社 明石金属製作所 代表取締役 飯田直城
- 株式会社 内田製作所 取締役社長 内田正勝

岡田鋳金株式会社

- 株式会社 清川製作所 代表取締役 川瀬純一
- 株式会社 清水鉄工所 代表取締役 清水重幸
- 大和部品株式会社 代表取締役 今井一博
- 株式会社 東亜製作所 代表取締役 古橋透
- 株式会社 蛭田電機製作所 代表取締役 蛭田好勝
- 鍍金業
- エビナ電化工業株式会社 代表取締役 海老名平吉
- 株式会社 三協アルマイト 代表取締役 岩崎登喜雄
- 鑄物・鍛造業
- 恩田鉄工株式会社 代表取締役 武井武
- 有限会社 京浜鑄造所 代表取締役 神道晃
- 杉谷金属工業株式会社 取締役社長 杉谷順弘
- その他の
- 有限会社 大森青木建設 代表取締役 青木武志
- 河原テント株式会社 代表取締役 河原祥浩
- 株式会社 気球製作所 取締役社長 豊間厚
- 秀和工業株式会社 代表取締役 岡田みつ
- 株式会社 日章機械 代表取締役 小林章彦
- 炭研精工株式会社 代表取締役 永井弥太郎
- 有限会社 古川塗装工業所 代表取締役 古川金一